

Doc. No.: NR071105

2007年11月5日

## 台湾・TSMC社から2年連続で「エクセレントサプライヤー賞」を受賞

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)の半導体機器カンパニー(社長：垣内 永次)は2007年11月2日、世界最大の半導体製造ファンドリー<sup>※</sup>であるTSMC社(本社：台湾・新竹市/社長兼CEO：Rick Tsai氏)から、2006年度「エクセレントサプライヤー賞」を受賞しました。

2008年の北京オリンピックに伴う特需に向けて、アジアのデジタル家電市場は着実な成長が続いており、半導体業界においても従来のパソコンや携帯電話のほか、薄型テレビや携帯音楽端末などの民生機器用途を中心としたデバイスの生産が増強されています。このような業界の動向を背景に、世界の一大生産拠点である台湾の半導体生産規模も年々拡大しており、当社ではサービス要員を4年間で3倍以上に増員するなど、台湾における販売・サービス体制の強化を図り、高いレベルの要求に 대응してきました。

今回当社が受賞した「エクセレントサプライヤー賞」(Supplier Excellence Award)は、TSMC社が2001年から毎年1度開催しているサプライヤーチェーンマネジメントフォーラムにおいて、同社の躍進に最も寄与したとされるサプライヤーに授与するもので、品質、技術・開発力、コスト、生産性、アフターサービスの5つの項目について四半期ごとに審査されます。当社は、数多くの半導体洗浄装置の納入実績を持つなど、業界をリードする最先端のウエハー・プロセス技術や卓越した製造効率を誇るTSMC社の発展に大きく貢献。技術力、性能、品質、生産性、サービス体制が総合的に評価され、昨年度に引き続き2年連続の受賞となりました。

当社は、半導体産業の成長を支える企業の一つとして、今後も顧客と一層強固な関係を築き、台湾市場をはじめ世界規模での販売・サービスの積極的な展開を図り、さらなるシェアの拡大を目指します。

※ ファンドリー (受託製造)

製造設備を持たない半導体メーカーから設計データを受け取り、半導体チップの製造を専門に請け負う企業。

### ■ TSMC社 (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company, Ltd./台湾積体電路製造股份有限公司)

1987年設立。台湾・新竹市に本社を置く、世界最大の半導体専門ファンドリーメーカー。2006年のウエハー生産能力は、700万枚(8インチウエハー換算)を超え、売上高は世界の半導体専門ファンドリー市場の約50%を占める。なお、サプライヤーチェーンマネジメントフォーラムとは、同社が有力なサプライヤーを集めて、年間の業況報告や今後の方針説明などを行う集会。このフォーラムの中で、優秀なサプライヤーに対する表彰式が開催される。

URL：www.tsmc.com